

カヌーで別寒辺牛湿原探索

自然体験活動(湿地・水鳥観察、水生生物採取・観察)

教科との関連:総合的な学習、理科

SDGsターゲット:11、13、15



※青で塗りつぶした範囲を、気象状況にあわせて探索

ねらい

対象

人数

時期

時間

場所

集合

持ち物

ラムサール条約登録湿地をカヌーに乗って探索し、湿地や水鳥の観察を通して自然に触れる楽しさを味わう小学生以上(小学生以下は大人同伴)

最大28名まで(引率者含む)

5月1日～10月31日

2時間(午前10:00～午後13:30～)

厚岸水鳥観察館周辺の湿地、大別川、別寒辺牛川

厚岸水鳥観察館横芝生広場

濡れても乾きやすい野外活動の服装(長袖、長ズボン)、乾きやすい靴、帽子、飲み物、防虫スプレー、カップ(雨天時)、その他体験予約時の確認事項参照

事前準備

- 参加同意書・乗艇名簿の作成提出。体験予約時の確認事項の確認。
- 宿泊者はネイパルでライフジャケット(PFD)の選定と調整
- 水鳥観察館でトイレを済ませ、季節に応じた服装や持ち物で観察館横芝生広場に集合します。

実際の活動

- ①ガイドによるセーフティトーク及び陸上でのパドル操作の練習(20～30分)
PFDを含む身を守るための手段。パドルの操作方法、乗り降りの仕方、予測される危険及びその回避方法。行程と活動の留意点。レスキュー方法。
- ②乗船(小学生以下は1艇につき、大人1名、子ども2名の3名を基本とします)
- ③湿原探索(先頭及び最後尾はガイド艇)(1時間程度)
- ④下船(先頭、中間、後ろの順にあります)
- ⑤振り返り(観察で気づいたこと、採取した水生生物の交流を行います)(20～30分)

留意点

- 探索地はラムサール条約登録湿地内です。カヌーの上からのみの探索となります。採取できるものは水生生物のみです。(観察後リリース)
- 先頭のガイド艇より前、最後尾のガイド艇より後ろにはいかないでください。単独行動は危険ですので、決められたエリアでの探索をお願いします。
- 潮の状況、風の状況などは刻々と変化します。状況によっては途中で引き返す場合や、活動自体を中止する場合がありますのでご了承ください。
- 小学生以下の引率者はカヌーと一緒に乗船していただきます。ガイドは最低2名配置しますので、2名+引率者分のカヌーを使用することになります。1艇には子ども2名が乗れますので、子ども10名の場合は引率者3名乗船していただくこととなります。(ガイド艇にも子どもの乗船は可能)。子どもの人数に対し大人的人数が足りない場合は、小学5年生以上に限り子ども3名乗船も可能ですが、前後を大人がいる艇で挟むようにします。
- 必要な場合は、ネイパルを通して傷害保険に加入することができます。詳細は「別紙体験予約時の確認事項」をご参照ください。

目安(おおよその時間)

- ネイパル厚岸→厚岸水鳥観察館駐車場(バスで25分程度)
- PFDの選定及び調整(器具庫で10分程度) ネイパルから出発する場合は各自PFDを現地に持参してください

活動中止の判断

- 気象状況を考慮した中止の判断はガイドが行います。現地に行く前の判断(雨プロ実施)は各学校でお願いいたします。